

令和8年度第1回中井町学校のあり方検討会会議録

日 時 令和8年5月21日（木） 15：30～

場 所 中井町役場 3階 3A会議室

出席者 学校のあり方検討会委員（16名）、高橋教育課長、小玉学校教育班長、安藤指導主事

傍聴人 1名

1 開会

教育課長

2 教育長あいさつ

（教育長）

この検討会は、中井町学校のあり方検討会設置要綱の第1条にあるように、中井町の小中学校の将来を展望した今後の方向性を見いだすことを目的として設置したものである。

中井町は人口の減少とともに、小中学校の児童生徒数が年々減少していること、施設の改修や使用期限のことも含め、未来の児童生徒の、より充実した教育活動を推進するための検討を望む声が数多く町に寄せられていた。そういった声を踏まえ、4月22日付で戸村町長より中井町立小中学校の今後の望ましいあり方について諮問を受けたところである。

あり方検討会では、諮問事項である、児童生徒の望ましい学校のあり方に関する基本的な方策について、その方針に掲げる適正化のための具体的な方策について、この2点について委員の皆様と議論を重ね、町長に答申していきたいと考えている。

委員の皆様はそれぞれの視点でこれまで中井の教育を見守り、また直接学校と携わってきたことと思う。ぜひ、これまでの知見や経験により、委員の皆様で議論を交わしながら、これからの学校のあり方について方向性を出していきたい。

なかい教育ビジョンを策定する際、昨年度の6、7月に小学5年生から6年生、中学校全学年を対象に、「中井町の学校の未来予想図をつくって、戸村町長に伝えよう」というテーマで、ワークショップを行った。また、8月には教育関係者や町民の参加希望者も交えて、中井町の学校の未来予想図2、未来の若い子たちが生き生きとできる学校をみんなで語ろうというテーマで教育懇談会を行い、子どもたちのワークショップでは1710の考え、教育懇談会では154の考えが挙げられた。なかい教育ビジョンの11ページに代表的な意見が中心にまとめあるので、参考にいただければと思う。

昨年度3月の学校運営協議会で行った、自分の学校のよさ、どのような教育活動をとおしてどのように子どもを育てたいかというテーマの熟議の内容についても、参考にいただければありがたい。

いろいろな視点での議論が深まるようお願いし、挨拶とさせていただきます。

3 委員自己紹介

4 中井町学校のあり方検討会の設置について

事務局より説明

4 正副会長の選出について

会長 加藤 彰吾（教育長）

副会長 野本 英里（学校運営協議会会長）

5 議 題

（１）町の学校教育の現状とこれからについて

事務局より説明

（委員）資料４ページ目について、学校の児童生徒数の推移があるが、今の０歳の子までが出ているが、その先の予測は立っているのか。

（事務局）人口統計的、全体的な推移というのは予測というのは出ているが、具体的な年代ごとの数字というものはわからないのが現状。

（委員）園と小学校のつながりというところで、なかいこども園とはそういったつながりをつくっているという話だが、中村地区は多くの子が木之花保育園から中村小学校に入学してくるということもあり、私立の保育園などもその中に入り込める余地というはあるのか、なかいこども園以外の園に通う中井の子どもたちに対しても、小学校につながるようなアプローチのようなものは考えているのか。

（会長）中村小学校の校長だったときに、新入生になる子どもを対象に授業体験を行った。その時は私立や町外の保育園、幼稚園の子どもたちも一緒に体験したような記憶がある。

また、校長の時に木之花保育園の運動会にも出席させていただき、小学校との交流もあったかと思われる。

（委員）町内在住の小中学生で町外の小中学校に通う方、逆に、町外から中井の小中学校に通っている方はいるのか。

（事務局）区域外就学という制度があり、その制度を利用し、中井町から町外へ、或いは町外から中井町の学校へという子どもは若干名いる。

（委員）中井町の学校に魅力があれば、中井町に住んで子どもを育てたいとか、町外に住んでいるが中井町の学校に通わせたいといったことで、町の人口を増やすような対策もできるのではないか。

（会長）町外から通う子どもは若干いるが、今のところ学校の魅力によるものではなく、家庭の事情によるものである。将来的に、中井町の学校に魅力があるから通わせたいと思っていただけるようになればよいと思う。そのためにも、幼小中の連携や、縦の学年の繋がりなど、また子どもたちの力で学校をつくるといった、子どもたちにとって夢のある学校づくりができればという思いがあり、そういった学校を将来的につくるためにはどうしたらよいかということで、このあり方検討会でご意見をいただきたいと思っている。今後の検討会で忌憚のないご意見をお願いしたい。

(2) 今後の進め方について

事務局より説明

(会長) 説明があったとおり、最終的には令和 10 年の秋までに取りまとめていきたい。

次のステップとして、今日は、学校の現状の取組みや、子どもたちのよさなどを伝えたが、委員の皆様は、実際に学校を見ていられるので、それぞれが考える課題もあるかと思う。

次回様々な課題を持ちよっていただけると、ディスカッションが深まると思う。その中から将来的に中井町の教育はこういう方向に進めましょうというところを確認できればと思っている。

それを踏まえて、学校の姿はこんな形が理想だというものが出てくるかと思うので、ぜひそのようなプロセスでできたらよいと思っている。

なかい教育ビジョンの中では、こういうことをこれからやったらよいとは載ってるが、それを土台にして、様々な考えを出してもらえたらありがたい。

それでは他にご意見はあるか。

(委員) 先ほど学校運営協議会の熟議の内容の話があったが、これは、良さが前面に出ている。熟議ということで、SWOT 分析して、強いところ弱いところ等々分析されてると思うが、それを提示していただけるか。熟議の分析内容が知りたい。弱いところについては、それをどうするかの道筋が見えるかもしれない。

(事務局) 第 4 回の学校運営協議会の熟議の中で出た意見については、第 1 回の学校運営協議会の資料の中で取りまとめたものを出しているのので、後日配布する。

(3) その他

(事務局) 本日の説明で使用したスライドの資料の内容について、後日教育委員会のホームページにも掲載する予定だが、子どもたちの写真については個人情報により取扱い等あるので、一部掲載写真の差替えがある。

(事務局)

次回検討会は、8 月 25 日 火曜日

時間については基本的には毎回 15 時 30 分を予定

6 閉会

野本副会長